

済生会新潟病院 公開・オプトアウト書式

① 申請番号	E24-16
② 研究課題名	肝細胞癌に対するダブルプラチナ肝動注療法時の悪心・嘔吐に対するNK1受容体拮抗薬の有効性の検討
③情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	BCLC B肝細胞癌(HCC)に対する肝動脈化学塞栓術(TACE)は、標準治療の一つである。Epirubicinのみならず、本邦ではcisplatin(CDDP)、miriplatin(MPT)などのプラチナ系抗がん剤が汎用されている。CDDPは高度催吐性、またMPTは中等度催吐性抗がん剤に分類されており、化学療法誘発性悪心・嘔吐(CINV)の制御が重要になる。 高度催吐性抗がん剤に対する支持療法は、Neurokinin1(NK1)受容体拮抗薬、5HT3受容体拮抗薬、デキサメタゾンの3剤併用療法が推奨されている。一方でCDDP、MPTダブルプラチナ肝動注療法(DP-TACE)時のCINVに関する検討は少ない。そこで、今回我々はDP-TACE時のfosaprepitant(fAPR)併用におけるCINVの発現状況について後方視的に検討した。 本研究は、新たに試料・情報を取得することではなく、既存情報のみを用いて実施する学術研究である。オプトアウトについての資料を作成し、病院ホームページに掲載する。研究参加拒否の申し出があった場合は、研究対象者から削除する。拒否したことによる不利益が生じることはない。 研究データの取り扱いは特定の関係者以外がアクセスできない状態で行い、個人の特定ができない状態で保管・管理する。
④利用または提供する情報の項目	電子カルテ情報
⑤対象者及び対象期間	2017年1月1日よりHCCに対してDP-TACEを施行し治療開始からCINV調査を施行できた43例
⑥利用の範囲	済生会新潟病院
⑦結果の公表	学会や論文等で公表します。個人が特定されることはありません。
⑧試料・情報の管理について責任を有する者	済生会新潟病院 薬剤部 鈴木 光幸 025-233-6161(代表)
⑨問い合わせ先	済生会新潟病院 薬剤部 鈴木 光幸 025-233-6161(代表)

もし、研究や情報の提供に同意をいただけない場合には、お手数ですが問い合わせ先までご連絡ください。
なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。